

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【桜木中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	引き続き、デジタル教科書をはじめ、情報端末の資料を活用したり、具体物を用いたりすることで知識・技能の定着を図っていく。また、スクールダッシュボードなどを活用し、生徒が自身の課題を捉えたり、振り返ったりするとともに、生徒が自分にあった学び方で課題を解決したり、長所を伸ばしたりすることを考えられるようにしていきたい。
思考・判断・表現	引き続き、個々の生徒の習熟度の程度に応じた発展的な学習場面や、情報端末を用いた協働的な学びの場面を設定することで、思考・判断・表現力を高めていく。また、教科横断的な学習のさらなる充実により、異なる教科の視点を活かすとともに、対話的な学びを通して、自身の言葉で説明するための表現力を高めていく。

	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】資料を読みとり、自身の知識と資料の内容を関連付ける力に課題がある。 【指導上の課題】資料や具体物を用いて、知識・技能の定着を図る指導に工夫が必要である。	⇒ 【授業改善策】情報端末を用いて、プレゼン資料や具体物を見せることで、自身の知識との関連付けを図る時間や、スタディサプリやスクールダッシュボード等を利用して、生徒が自らの課題を捉えたり、振り返ったりする時間をつくる。 【評価方法】定期テスト前に実施、R6年度さいたま市学習状況調査「学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合が85%以上
思考・判断・表現	【学習上の課題】根拠となる部分を引用して要約したり、自分の考えを、他者の考えと比較しながら述べたりすることや、表やグラフ、資料の特徴や傾向を捉えて、言葉や数を用いて表現することに課題がある。 【指導上の課題】思考した内容を言語化させる活動をより多く設定することが必要である。	⇒ 【授業改善策】個々の生徒の習熟度の程度に応じた発展的な学習場面や、情報端末を用いた協働的な学びの場面を設定する。 【評価方法】R6年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」、「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」2つの質問項目において、肯定的な回答の割合が95%以上

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能	A	R6年度さいたま市学習状況調査「学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90.8%であった。
思考・判断・表現	A	R6年度さいたま市学習状況調査の質問項目、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の肯定的な回答の割合が96.5%、「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の肯定的な回答の割合が98.6%であった。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	・国語では、正答率は良好であった。学習指導要領の内容でみると、「言語の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱いに関する事項」は良好だが、「我が国の言語文化に関する事項」では課題がみられる。 ・数学では、正答率は良好であった。学習指導要領の領域でみると、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての領域で良好ではあるが、「データの活用」では若干の課題がみられる。	
思考・判断・表現	・国語では、正答率は良好であった。学習指導要領の内容でみると、「読むこと」「書くこと」「読むこと」すべての内容で良好であった。 ・数学では、正答率は良好であったが、数学的な言葉を使って説明することに課題がみられる。	

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	中1、中2ともに結果は非常に良好であった。デジタル教科書をはじめ、情報端末を活用し、資料や具体物を用いることで知識・技能の定着に繋がったと考えられる。	
思考・判断・表現	中1、中2ともに結果は良好であった。情報端末を活用し、個々の生徒の習熟度の程度に応じた発展的な学習場面を設定したり、思考した内容を言語化させる活動をより多く設定したりすることで、思考・判断・表現の向上に繋がったと考えられる。	

	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	復習や自己の振り返りを取り入れているが、とくに数学ではこれらの時間を少しでも増やしていく必要がある。そのためタイムマネジメントをしっかり行っていく。	変更なし
思考・判断・表現	B	思考力や判断力においては向上しているのがみられるが、それらを自身の言葉で説明するための表現力を、対話的な学びを通して高めていく。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)